



# おおくぼ

令和3年10月1日第10号

さいたま市立大久保小学校

さいたま市桜区五関21

048(854)7636

男子114名 女子108名 計222名

学校教育目標 ゆめにむかって かしこく やさしく たくましく  
～ふるさとを愛し、志高く生きる、心優しい大久保の子ども～

## オンライン授業

校長 藤田成司

2学期がスタートして1カ月余りが経ちました。対面とオンラインを併用した授業に向け、教職員は研修を深め、よりよい授業実践ができるよう工夫を重ねてきました。オンラインで学習している児童も、オクリンク等でカードを送り合うなどして意見を共有し合ったり、家で作った作品を教室のモニターに映して発表したり、グループごとの話し合い活動にオンラインで参加したりと教室で学ぶ児童と同じような流れで学習することができました。オンライン授業に取り組む児童数は、クラスによって、また日によって変動がありましたが、0人から最高で9人という状況でありました。保護者の皆様の御協力もあり、だいぶスムーズに行うことができるようになりました。ありがとうございました。今後は、例えば、学級閉鎖のような状況になった際にオンライン授業を実施することも想定してまいりたいと考えております。

学級閉鎖というと市内の小・中学校では、2学期以降、20を超える数の学級等で行われた状況でした。ここに来て多少収束してきてはおりますが、まだまだ先が不透明な状況です。本校でも、陽性になったり、濃厚接触者になったり、体調不良のため出席停止となったりと、いつ、だれが、登校や出勤を見合わなければならない状況になっても不思議ではない状況が続いておりましたので、引き続き、学校の新しい生活様式に沿った形で学校の教育活動を進めてまいります。

ところでインフルエンザによる学級閉鎖の場合には、多くの児童が感染した状況を思い浮かべますが、新型コロナウイルス感染症の場合には、少しイメージが違うかも知れません。すべての事例において一律に対応できるとは限りませんが、およそ、以下のいずれかの状況に該当する場合であり、その期間は、濃厚接触者特定に係る保健所判断が判明するまでの期間、または、検査対象者の検査結果が判明するまでの期間となり、5～7日程度が目安となっています。

- ① 同一の学級に2名の陽性者が発生した場合
- ② 感染者が1名であっても、以下に該当する場合
  - ア 周囲に未診断の風邪等の症状を有する者が複数いる
  - イ 濃厚接触者の候補となる者が複数存在する(※ただし、学校に2週間以上来ていない者等の発症は除く。)

緊急事態宣言が解除されたことにより、今月は、修学旅行や校外学習を実施いたしますが、引き続き、感染症対策を徹底してまいります。今月も、本校の教育活動への御理解と御協力の程、どうぞよろしくお願いたします。